

日中サービス支援型共同生活援助における評価根拠

日中サービス支援型指定共同生活援助を行う事業者は、日中サービス支援型指定共同生活援助事業所を地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図る観点から、年に1回以上、当該事業所が所在する市町村の自立支援協議会等に対し、当該事業の実施状況等を報告し、市町村協議会等から評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴かなければならないものと規定されています。

また、知事が必要と認める場合に設置者は新規指定申請時にあたり、市町村協議会等に対し、運営方針や活動内容を説明の上、当該協議会等による評価を受けるものとされています。
【要綱】日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等に関する実施要綱(県要綱)に基づき実施

評価の目的

日中サービス支援型共同生活援助の運営にあたり、地域に開かれたサービスとすることにより、サービスの質の確保を図るため。

評価の視点

利用者に応じて外部サービスも利用し、日中サービス支援型共同生活援助サービスの提供が漫然かつ画一的なものとならないよう配慮されているか。
地域住民または地域活動との交流に努めているか。

2

実施の流れ(通常)

1. 必要書類の提出

時期:5月
対象:評価会は指定後1年ごとに提出
内容:報告・評価シートを市へ提出

2. 松戸市自立支援協議会 日中サービス支援型共同生活援助評価部会による評価実施

時期:6月
内容:事業所から提出された「報告・評価シート」等の資料や当日の質疑応答に基づき評価を行う。
評価者:松戸市自立支援協議会 日中サービス支援型共同生活援助評価部会 委員5名

3. 松戸市自立支援協議会による審議

時期:8月
内容:評価部会にて実施した評価内容に対して審議を行う。
審議者:松戸市自立支援協議会委員15名

4. 事業所への結果通知

時期:9月
内容:松戸市自立支援協議会より事業所に助言・要望等の通知を行う。

5. 千葉県総合支援協議会へ結果の報告

時期:千葉県総合支援協議会が別に定める期日(毎年12月末日)
内容:市町村協議会から県協議会へ報告書を提出

6. 県協議会による市町村協議会への助言等

時期:県協議会へ結果の報告後
内容:県協議会は市町村協議会に対し、必要に応じて助言等を行う。

7. 次回以降の指導・評価に向けた改善

時期:県協議会による市町村協議会への助言後
内容:市町村協議会は県協議会の助言等を参考に、次回以降の事業所の評価・助言等における全体的な資質向上に努める。

日中サービス支援型共同生活援助事業所と通所事業所を同一敷地内に設置しようとする場合などに、事前評価が必要となります。

1. 必要書類の提出

時期: 8月の市町村協議会で評価を行う場合、4月までに提出
 2月の市町村協議会で評価を行う場合、9月までに提出
 対象: 知事が事前の評価が必要と認める場合のみ提出
 内容: 報告・評価シート等を協議会へ提出

2. 松戸市自立支援協議会 日中サービス支援型共同生活援助評価部会による評価実施

時期: 6月か11月、いずれかの評価部会にて評価実施
 内容: 事業所から提出された「報告・評価シート」等の資料や当日の質疑応答に基づき評価を行う。
 評価者: 松戸市自立支援協議会 日中サービス支援型共同生活援助評価部会 委員5名

3. 松戸市自立支援協議会による審議

時期: 8月か2月、いずれかの協議会にて審議
 内容: 評価部会にて実施した評価内容に対して審議を行う。
 審議者: 松戸市自立支援協議会委員15名

4. 事業所への結果通知

時期: 松戸市自立支援協議会開催後
 内容: 松戸市自立支援協議会より事業所に設置の可否や助言・要望等の通知を行う。

5. 県への結果報告

時期: 事業所への結果通知後
 内容: 事業所は市町村協議会での結果通知を添付し、県に報告する。設置を認めた場合、新規指定を受ける。

(1) 評価部会当日の流れについて

1. 実施の趣旨説明

評価会の開催意義について(15分程度)

2. 評価シートの説明、質疑応答(1事業所あたり20分)

事業所による報告・評価シートの内容説明(5～10分程度)
 評価事項の質疑応答(10～15分程度)

3. 評価

各委員による評価シートの記載(15分程度)
 ※評価部会開催後、1週間程度で評価を提出

(2) 評価部会について

松戸市自立支援協議会の部会として日中サービス支援型共同生活援助評価部会を設置
 (松戸市地域自立支援協議会条例第8条)

⇒日中サービス支援型共同生活援助の評価について付託

【日中サービス支援型共同生活援助評価部会】※委員15名から選出された部会員5名が所属

1. (部会長)江波戸 達郎 委員【(特非)LIFACT 代表理事】
2. 星野 大和 委員【松戸市医師会 理事】
3. 椎橋 克夫 委員【千葉県立松戸特別支援学校 教頭】
4. 佐藤 美穂子 委員【(社福)松戸市社会福祉協議会】
5. 布施 弘道 委員【株式会社スマイルケアブリッジ】

日中サービスマニタリング共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等に関する実施要綱

(目的)

第1条 日中サービスマニタリング共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成24年12月21日条例第88号）に定めるほか、県内の市町村（政令指定都市及び中核市、我孫子市を除く。以下、この要綱において同じ。）において、日中サービスマニタリンググループホームの設置者（以下、「設置者」という。）が事業を実施する場合は、この要綱に定めるところにより行うものとする。

(市町村協議会等への定期報告)

第2条 設置者は年に1回以上、当該事業所が所在する市町村の自立支援協議会等（法第89条の3第1項に規定する協議会又はその他の都道府県知事がこれに準ずるものとして特に認めるもの（以下、「市町村協議会等」という。））に対し、当該事業の実施状況等を報告し、市町村協議会等から評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴かなければならないものとする。

2 設置者は、市町村協議会等が別に定める期日までに、「日中サービスマニタリング共同生活援助における協議会等への報告書（事業所用）」（別記第1号様式）及び「評価・報告シート」（別記第2号様式）に必要事項を記入し、当該市町村協議会等へ提出しなければならない。

なお、新規指定後の提出は1年以内とし、以後の提出は1年毎とする。

3 設置者は、必要に応じて市町村協議会等へ当該事業の実施状況等について説明を行うものとする。

4 設置者は市町村協議会等における評価及び助言、要望等を尊重し、当該事業における質の向上するように努めるものとする。

(市町村協議会等からの評価)

第3条 市町村協議会等は設置者から上記第2条第2項に基づき関係書類が提出された際は、速やかに内容を審査の上、当該設置者の評価を行うものとする。

2 市町村協議会等は、必要に応じて設置者に対し、追加の説明又は報告等を求めることができるものとする。

(県協議会への定期報告)

第4条 市町村協議会等は年に1回以上、千葉県総合支援協議会（以下、県協議会）が別に定める期日までに当該市町村協議会等において実施した評価等の結果を取りまとめの上、「日中サービスマニタリング共同生活援助における協議会等への報告書（市町村用）」（別記第3号様式）を提出するものとする。

2 県協議会は、前項による報告を受け、必要に応じて市町村協議会等に助言等を行うことができるものとする。

3 市町村協議会等は、県協議会における助言等を尊重し、次回以降の設置者に対する助言、評

価等の質が向上するように努めるものとする。

(新規指定申請時の対応)

第5条 知事が必要と認める場合に設置者は事業の新規指定申請にあたり、市町村協議会等に対し、運営方針や活動内容等を説明の上、当該協議会等による評価を受けるものとし、その内容を「市町村協議会等における評価結果等の報告書」（別添第4号様式）及び「市町村協議会等による評価結果報告シート」（別添第5号様式）を用いて知事に報告するものとする。

(記録の保管等)

第6条 上記第2条及び第3条で規定する市町村協議会等における評価を受けた設置者は、その報告内容及びそれに対する評価、助言及び要望等についての記録を整備し、5年間保存しなければならない。

2 設置者は、個人情報情報の保護に留意しつつ、前項で規定する記録及び事業の運営状況を積極的に公表するものとする。

(その他)

第7条 この要綱に定めるものを除くほか日中サービスマニタリング共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

報告・評価シート

【報告日】 令和7年5月12日
【評価日】 令和7年6月5日

法人名		社会福祉法人松里福祉会			【評価日】		令和7年6月5日		
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	あおば			人員配置	日中		
		指定日	令和2年	4月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	松戸市金ケ作422-2				35人	16人	
		定員数（共同生活援助）	39人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		定員数（短期入所）	4人				12.49人	15.80人	
		共同生活住居数	5戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】		世話人		生活支援員		
		あおば五香	8名		10人		人		
		あおば八柱	6名						
		あおば金ケ作	5名		（常勤換算後）		（常勤換算後）		
		あおば六実A棟	10名		3.65人		人		
		あおば六実B棟	10名						
		2	利用者状況 （令和7年4月1日現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）
区分1（非該当含）	0人			身体	総 数：	5人			
区分2	0人				主に日中GHで過ごす人数：		0人		
区分3	2人			知的	総 数：	37人			
区分4	3人				主に日中GHで過ごす人数：		0人		
区分5	9人			精神	総 数：	0人			
区分6	23人				主に日中GHで過ごす人数：		0人		
合計	37人			難病等	総 数：	0人			
年齢	人数				主に日中GHで過ごす人数：		0人		
20代以下	2人			内訳②	障害特性		人数		
30代	3人				医療的ケアが必要な者	0人			
40代	13人				強度行動障害がある者	2人			
50代	16人								
60代以上	3人								

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
3	地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	年	月	日	民生委員のみならず、福祉・経営に知見を有する方の参加が望ましいと考えられます。 町会関係者、相談支援専門員、基幹相談支援センター、特別支援学校関係者、市の障害福祉関係者等の参加もご検討くださいますようお願いいたします。	
		参加委員数	人				
		開催方法	対面を予定				
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	利用者・利用者家族・各住居地区の民生委員を予定				
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					地域との連携強化のため、必要な対応をしていただいた上で開催をお願いいたします。
		事業所の運営状況の報告（サービス内容・利用状況等）の報告・共有、地域からの要望、質問等に対する質疑応答等を予定					
		地域連携推進会議における要望・助言等について （会議において推進員等からの要望や助言を記載）					
		地域連携推進員の訪問について					
		現在検討中					
		議事録の公表方法について					会議までに具体的に決めていただきますようお願いいたします。社会福祉法人という性質上、議事録は所内掲示に留まらず、ホームページ等を活用して広く公表いただくようお願いいたします。
現在検討中							

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】 別紙①参照	日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。
		【運営方針】 別紙①参照	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にはどのような日中サービスを提供しているか。	利用者様と計画してサービスを提供するとより良い活動になると考えられます。
		買い物、ドライブ、ウォーキング、軽運動等	
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 37人	
		・生活介護 29名 ・就労継続B型 8名	
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。	
		該当なし	

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	移動支援などを活用して外出や余暇活動の支援に努められており、気分転換や楽しみとなる機会があることは良いと思われます。利用者の希望も反映して計画していただけるとより良いと思います。 また、全ての方が移動支援のサービスが提供されているか、移動支援事業所は固定の事業所ではないかをご確認ください。 花火を実施した際に事前に近隣に挨拶をしてから実施されたとのことで、地域生活に溶け込もうとする姿勢を評価いたします。
		体験の利用等のニーズに対応しているか。	
		令和6年度は13名を受入れ。 家庭から離れた環境での生活を体験してもらう為、4泊5日程度の日程で実施した。昨年度2名がその後他法人のGHに入居したと報告を受けている。	
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について	積極的に体験者を受け入れており、評価いたします。引き続きの対応をお願いいたします。 また、体験いただいた方が他法人のグループホームへの入居に繋がった事例から、アセスメントが有効であると思われる、職員の質についても担保されていると考えられます。
		事業所名	
		サービス種別	
		利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況	
		【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度	
		・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 各住居定期的に家族会を開催し、運営状況の説明や要望等、意見交換の場を設けている。各住居で町会に加入。輪番でゴミ当番をおこなったりしている。	定期的な家族会の開催により、家庭からの要望や疑問点等の意見交換や家族同士の横の繋がりの構築ができており、評価いたします。 また、町会に加入しており、地域に溶け込む努力をされていることから、全体的にとっても良い取り組みと思われます。引き続きの交流をよろしくお願いいたします。 グループホーム単独での実習生の受け入れについては、サービスの提供内容から学びが偏る傾向があるため、日中活動事業所との併用実習は障害者の生活を学ぶ上で有用であると思われます。 実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 受け入れ人数 実 習 生： 人 ボランティア： 人	
		GHでの実習生の受け入れはおこなっていないが法人内の日中活動施設の実習生に対しGHの見学・説明をおこない理解を深めている。	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 49人 うち市の事業による受け入れ： 19人	多数の利用者を受け入れており、地域生活支援拠点としての役割を十分に果たしていると思われます。 障害を有する方の家族にとって大変心強いと思いますので引き続きの受け入れをよろしくお願いいたします。 左記事例において、生活拠点が見つかるまで1か月以上受け入れた実績があり、年末年始を含め適正なサービス提供がなされたことから、利用者の事情や状況に応じた対応ができていると考えられます。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 受け入れ人数：10人 母子世帯。介護者である母が緊急搬送され、直後より介護者不在となり短期入所を開始。短期入所中に母が死去、生活拠点が見つかるまでの延べ49日間を短期入所に対応。	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 各住居とも利用状況に応じて支援体制を整えている。支援状況によっては夜間支援者を2名体制にしている。	日中・土日とも十分職員を確保できているほか、支援状況が情報共有され、人員体制が整備されており望ましい体制です。人員の確保が難しいと思われませんが、引き続き支援体制の確保をよろしくお願いいたします。
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	入居者並びに家族状況の変化等について、必要に応じて関係各所と情報共有をおこないながら、課題解決や新たなニーズに対しての支援を協力しながら対応している。	入居者やその家族の状況に応じて、様々な関係先と情報共有を行い連携されている点が良いと思います。特に、疎かになりがちな家族状況の変化を、対象者を取り巻く重要な資源として位置づけていることは素晴らしいと思います。 引き続きの連携をよろしくお願いいたします。

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 知的障害者施設に20年以上勤務。その間、生活支援員・主任・施設長補佐・サービス管理責任者を経験。 社会福祉士・サービス管理責任者・強度行動障害支援者実践研修・認定調査員等。	経歴・スキル共に申し分なく、良い配置であると思います。 定員数から2名の配置は義務ではありませんが、管理者同様申し分ない人材であり、良い配置であると思います。 スキルの高い職員を配置し、研修なども積極的に修了されている点が良いと思います。強度行動障害の特性理解を積極的に行っていることが分かりました。 社会福祉士のソーシャルワークが事業所の中でどのように展開されているかご教示ください。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 2名配置。(管理者兼務) 知的障害者施設にて10年以上勤務。あおば主任。 サービス管理責任者・強度行動障害支援者実践研修・知的障害援助専門員・介護初任者研修等。	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 常勤の生活支援員16名のうち12名は強度行動障害支援者養成基礎研修を修了。そのうち4名は実践研修を修了。 国家資格保有者は社会福祉士3名、介護福祉士2名。	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 法人内で年間研修計画に基づいて研修を実施(別紙②参照)。事業所内では各月で職員会議やケース会議(事例検討等)を実施。 外部研修においてはその都度案内に従い該当する者に受講を促している。	散発的な研修でなく継続的・系統的な研修が大事であることから、計画に基づいた研修をされているほか、事例検討等を行うことで実践的なスキルアップを図っている点が評価できます。 法人内で様々な研修が企画され、住まいの場としてだけでなく、包括的な支援を想定していることが分かりました。引き続きの実施をよろしくお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 講習を受講することで取得できる資格は、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後は資格手当、処遇改善加算等で給与に反映している。	

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 明確なものはなく、体験利用でGHの暮らしを経験した上でご本人が家庭を離れた生活に順応し、入居を希望した場合に受け入れ可能としている。その際相談支援事業所や家族、関係機関等とも最終的な調整会議をおこない判断している。	断ったケースはなく、関係機関や家族等と調整会議を行った上で受け入れの判断ができている点が良いと思われます。他の利用者との調整もあると思われますが、引き続きよろしくお願いたします。 医療的ケアが必要な方においては看護師等の医療職配置がないため、受け入れは現実的に難しいかと思われます。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 現状断ったケースはないが、住居環境等によっては受け入れが難しい場合もあると思われる。	住宅環境については施設整備等で対応が可能となるのか、法人として修繕を行う予定があるかをご教示ください。 障害特性上の問題等はあると思いますが、今後とも受け入れについて前向きな検討をお願いいたします。
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて	食料品の備蓄は各住居ごとに概ね1週間分を備蓄している。その他不足が生じた際は法人内の通所事業所より物品や人員の協力が得られるよう備えている。 (別紙③参照)	様々な想定がされているほか、不足が生じた場合は法人内の別事業所から協力を得られるなど、法人内で協力関係が構築されている点が素晴らしいと感じました。 賞味期限等のチェックを含め、引き続きの備えをお願いいたします。
16	協議会からの要望、助言への対応 (2回目以降記入)	入居者37名のうち法人外相談支援事業所は7名が利用。BCP研修・訓練は法人研修と絡めて実施。GHにおいては、夜間帯の震災を想定したシュミレーション訓練を実施。	年2回の避難訓練や夜間帯の震災へのシュミレーション訓練については引き続き継続をお願いいたします。 地震以外の災害や、入居者の急な異変に対する研修訓練も別途必要かと思われます。
17	その他	(その他、独自の工夫点について記入)	食事については外部配食サービスを利用されているとのことですが、法人の持ち出しもあるなど、やりくりで苦慮されている印象を受けました。サービスの持続可能性の観点から、根拠ある相応の値上げにつきましてもご検討ください。

報告・評価シート

【報告日】 令和 7年 5月 15日

【評価日】 令和 7年 6月 5日

法人名		ソーシャルインクルー株式会社							
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀			人員配置	日中		
		指定日	令和6年	12月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	松戸市東平賀275-1				12人	3人	
		定員数（共同生活援助）	10人				(常勤換算後)	(常勤換算後)	
		定員数（短期入所）	1人				3.86人	2.46	
		共同生活住居数	1戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人	生活支援員	
		【ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀】	10名				10人	1人	
		【短期入所松戸東平賀】	1名				(常勤換算後)	(常勤換算後)	
		【住居名を記載】	名				1.1人	0.28人	
2	利用者状況 (令和7年5月1日現在)	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）					身体	総 数：	1人
		区分2						主に日中GHで過ごす人数：	
		区分3	1人				知的	総 数：	5人
		区分4	5人					主に日中GHで過ごす人数：	
		区分5	4人				精神	総 数：	6人
		区分6						主に日中GHで過ごす人数：	
		合計	10人				難病等	総 数：	0人
		年齢	人数					主に日中GHで過ごす人数：	
		20代以下					内訳②	障害特性	
		30代	1人			医療的ケアが必要な者		0人	
		40代	4人			強度行動障害がある者		2人	
		50代	3人						
		60代以上	2人						

1/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	未定	町内会のみならず、福祉・経営に知見を有する方の参加が望ましいと考えられます。 相談支援専門員、基幹相談支援センター、特別支援学校関係者等の参加もご検討くださいますようお願いいたします。	
		参加委員数	未定		
		開催方法	未定		
		会議の構成員 (利用者家族、地域の関係者等)	未定	障害特性や地域との関わり方等が議題予定となっておりますが、一度実施いただいたうえで、その後は開催時の課題に応じた議題を取り上げていただくようお願いいたします。 地域性や事業所の性格、特色を考慮して実施をお願いいたします。	
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について			
		令和6年度は未開催でしたので、令和7年度は開催致しますが、市の周知が終了後にとの事ですので、6月以降にご協力の依頼をします。議題・報告内容としましては、障害特性や、地域との関わり方等を議題にする予定です。			
		地域連携推進会議における要望・助言等について (会議において推進員等からの要望や助言を記載)			
		地域連携推進員の訪問について (施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載)			
		議事録の公表方法について			

2/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付致します。 運営規定 第1条をご参照ください。 【運営方針】 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付致します。	共同生活援助と短期入所の目的を理解して運営されていると思われます。
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 入浴介助・更衣介助・排泄介助・体位交換・居室掃除・洗濯補助・健康管理・服薬管理・金銭管理・受診・外出同行、行政手続きの代行や同行など、ご入居者様が出来ない部分を支援しています。また、一緒に余暇活動（散歩や卓上ゲーム等）も行っております。 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 9 人 生活介護 6名 就労継続支援B型 3名 外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 日中活動サービスを利用していない方が1名います。主な理由は1日中、怒鳴るような声出しをしている為、受け入れ先が難しく主治医とも相談をしています。相談員様とも日中活動について話し合い、まずは移動支援を利用して社会参加をしてはどうか？という事になりました。ホーム内での生活スケジュールは、規則正しく生活できる様に声掛けをし、15時に個人で用意しているおやつを適量、提供しています。また、運動不足にならない様に、散歩に行く事をご本人様に毎日確認し、同行しております。様子を見て、体調が安定している時は、買物同行もしています。散歩に行かない時は、共有スペースにてテレビ鑑賞したり、職員と卓上ゲームや居室掃除を一緒に行っています。個人契約の訪問看護が週1回訪問し、情報共有しています。日中活動がお休みで、ホームに居る方も同様です。訪問リハビリや、マッサージを利用し、ホーム内で歩行訓練されている方もいます。お話が好きな方は、職員と話をしたり、相談を受けたりしております。	外出時にも職員が同行していただけることはありがたいですが、職員の対応が難しい場合、利用者に不利益が生じる可能性があることをご留意ください。 ほとんどの入居者が日中活動サービスを利用しているほか、日中活動サービスを利用していない利用者に対しては、運動不足にならないように配慮して、生活の安定に努められている点が良いと思います。 利用者の社会性を担保するために日中活動を促すなど、個々の特性に合わせて対応されているほか、積極的に外部の資源を活用されていることが分かりました。 訪問事業の受け入れ頻度については、医師や関係機関からの判断をいただきながらご検討ください。

3/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 移動支援を利用し、柏スタジアムでサッカー観戦する方や、外食やショッピングモール、ボーリングを楽しまれている方がおります。ご実家に泊られる方や、ご家族と外出や外食される方がおりますので、それぞれのスケジュールに合わせ、入浴時間や食事の発注と提供時間を変えています。外出時の薬の用意や外出前の身支度、金銭管理等を支援しております。町内会でイチゴ狩りの催しがあり、町内会長にご連絡しましたら、「ぜひご参加ください」との事で、ご家族様や後見人様に了承を得て、参加の申し込みをしました。が、不作で中止という事がありました。	帰宅時支援加算を活用して家族との交流支援を実施していることが分かりました。 利用者のスケジュールに合わせてサービス内容を調整できているほか、催しの中止は致し方ないですが、町会とも連携のうえ、地域生活ができるよう配慮がされており評価いたします。スポーツ観戦、ショッピング等のインフォーマルな地域資源の活用も評価できます。利用されている移動支援事業所に偏りがなくご留意ください。						
		体験的利用等のニーズに対応しているか。 令和6年5月1日から令和7年5月1日までの間、6名が弊社施策の無料体験入居を最長1週間利用し、内5名がご入居の運びになりました。 事例：今まで包括型GHにご入居されていましたが、機能低下や、入院をきっかけに今までの生活を継続するのは難しく、日中サービス支援型に移行したいとのご希望があり、無料体験をしていただきました。体験中は職員と、「どのような支援が必要か？」を経過観察し、相談員様や入院先と情報共有しご入居につなぐ事ができました。また、独居の方やご家族と一緒に住んでいた方もおりますが、危険行為があり、GHが望ましいという事で無料体験し、職員間での経過観察、各関係者との情報共有の末、本入居になられた方もおります。1名は無料体験時、試行錯誤しましたが安全の確保が出来ないと理由で入居に至りませんでした。	適切に対応されていると思います。無料体験は体験者にとって有益であるため、ぜひ継続をお願いいたします。 左記事例における安全の確保ができない理由が本人の特性によるものか、人員を含めた環境要因によるものかの特定は今後の運営において重要であると考えられます。検証をお願いいたします。						
7	同一敷地内に設置した通所事業所について <u>※該当する場合のみ回答</u>	・通所事業所の概要について							
		<table><tr><td>事業所名</td><td></td></tr><tr><td>サービス種別</td><td></td></tr><tr><td>利用定員</td><td></td></tr></table>	事業所名		サービス種別		利用定員		
		事業所名							
		サービス種別							
		利用定員							
		・通所事業所での日中活動の具体的内容							
・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況									
<table><tr><td>【GHからの利用人数】</td><td>人</td></tr><tr><td>【通所の頻度】</td><td>1週間に 日程度</td></tr><tr><td colspan="2">・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み</td></tr></table>	【GHからの利用人数】	人	【通所の頻度】	1週間に 日程度	・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み				
【GHからの利用人数】	人								
【通所の頻度】	1週間に 日程度								
・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み									

4/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご家族と外出される方がおり、制限は無く自由にご家族やご友人とご対面できます。年末年始などの長期連休時は、ご実家に連泊されたり、月1回はご実家に泊られる方もいらっしゃいます。町内会に加入しており、回覧板が回ってくるので、参加できそうな催しには、利用者様の安全を確保して、参加しようと思っております。また散歩や通院同行時、近隣の方と交流を持つように挨拶や会話をしております。 ホームで行う避難訓練の際には、管轄されている消防署にご参加いただき、ご入居者様の状況を共有し、避難経路や火災時の対応方法等をご指導いただきました。	制限なく面会ができるなど、地域とのつながりを持った生活が送れるよう配慮されており、家族や地域と積極的に交流されている点が良いと思います。 また、消防署の方に避難訓練へ参加いただき、事業所や入居者の事を理解していただくことは、有事に備えての情報共有に繋がりますので、ぜひ継続して実施をお願いいたします。 外部のボランティア等を積極的に受け入れることで、地域とのつながりがより一層深まると考えられますので、ぜひ受け入れをお願いいたします。 実習生等の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。また、ボランティアの方にしていただくことを明確にすることが望ましいです。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数	
		実 習 生： 0人 ボランティア： 0人	
9	短期入所の併設について	ご入居の際に、弊社社員により引越しの荷物を運び、居室に配置致しました。今後は外部のボランティアの方の受け入れを積極的に検討してまいります。	
		・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 3人 うち市の事業による受け入れ： 1人	

5/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9	短期入所の併設について	・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 地域生活支援拠点として受け入れた方は、ご家族との関係性に悩み、不穏になっているとの事で、相談員様からご連絡を頂きました。短期入所中は不穏になる事無く、生活されていますが、ご家庭に帰ると再度不穏になられる可能性があるため、長期でご利用しています。もう1名は、他法人のGHにご入居していますが、生活環境で不穏になってしまい、緊急受診しているが、現在入居しているGHに戻ると、また不穏になってしまう、との事で、相談員様からお電話を頂きました。当ホームで、ご本人様の気持ちが落ち着くならと思い、受け入れました。あと1名は、自立の練習目的で定期的にご利用して頂いています。	利用者の状況に応じた受け入れ体制が整えられており、適切な対応だと感じました。 地域生活支援拠点としても機能を果たしており、様々なニーズに対応できていると思われます。
		・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日勤2名・夜勤2名での支援体制です。日勤は共有部や居室の掃除、入浴介助や散歩、買物・受診同行等を行っております。風呂は、都度掃除・湯の入れ替えをしており、毎日、清潔に入浴をして頂いております。居室掃除も入居者様によっては一緒にいきます。支援が必要な方は、職員が行います。夜勤は夜間の2～3時間置ききの巡視。朝は全入居者様の血圧・体温・血中酸素濃度を測定しています。日勤・夜勤は食事の時間までに調理し、提供。服薬管理も行います。また、定時でオムツ確認を行っています。	
10	支援体制の確保について		日中・夜間共に職員が確保され、体調管理なども行われており、良い体制と思われます。

6/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	ご入居者様のご希望や体調の変化、お怪我や入院等があった際は必ず関係する事業所へご連絡し、必要に応じて担当者会議を開き情報共有と安全な支援方法について一緒に考えます。 事例①ご入居されて直ぐに、就労したいと仰ったので、相談員様にご連絡。就労B型の見学に同行していただき体験後に通所が決定致しました。 事例②やせ型の方で、不穏時に拒食してしまうのですが、拒食する回数が増え日中活動にも行けない日が増えてきたので、後見人様と相談員様と話し合いをし、日中活動の回数を減らした方が良いかも、となり日中活動先にも相談。ホームでの様子と通所先で情報共有し、無理なく通所する為、回数を減らしました。体重も減少していたので、個人契約している訪問看護に相談し、定期的に体重測定と精神薬の提案を受け、主治医に相談。服薬を始めてからは、拒食等の不穏が減少し穏やかに生活できるようになりました。 事例③難病の方がご入居していたのですが、少しずつ機能低下していて、当ホームで安全に生活続ける事が難しくなってきたので、相談員様に相談。担当者会議を開き、ご本人様に伝えました。転居するなら通院先の近くにと、ご希望があったので、訪問看護や通院先にも相談し、看護師が在中しているナースিংホームに転居する事ができました。	利用者の状況に応じて医療関係者や後見人など関係機関と連携し、情報共有や安全な支援方法を検討されており、適切に連携が取れていると思われます。 各事例において、利用者の近くでアセスメントが行われ適宜関係機関へ繋いでいることが分かりました。

7/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 令和2年4月 ソーシャルインクルーホーム越谷花田 施設長 令和3年2月～ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀 管理者 令和6年12月 強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践 受講 不安な事や疑問に思った事は、エリアマネージャーに相談し、フォローしていただいております。毎月、本社ミーティング・千葉エリアミーティングもあり、虐待防止・身体拘束等の障害福祉について学ぶ事が出来ます。 ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 平成25年5月～平成30年12月 訪問介護員 平成30年12月～令和2年12月 介護ステーション訪問介護員 令和2年12月～令和3年12月 就労継続支援A型 職業指導員 資格 精神障害者ホームヘルパー・同行支援従業者・介護福祉士・千葉県相談支援従業者初任者研修・サービス管理責任者基礎研修・サービス管理責任者実践研修 ・支援スキルの高い従業者を置いているか。 社会福祉士1名・介護職員初任者研修3名・移動支援従業者養成研修1名・訪問介護員2級養成研修課程1名 経歴として、生活介護や就労継続支援A型の職業指導員をされていた方が3名います。知的障害者入所施設で生活支援員をされていた方が1名います。	強度行動障害研修を受講したことを評価いたします。支援スキルを上げるため、積極的な資格取得や研修の受講をお願いいたします。 本社やエリアマネージャーのフォローアップを要しながらも、利用者への積極的な働きかけを行っており、問題ないと思われます。 問題ないと思われます。 問題ないと思われます。
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 事業所内研修：会社での年間研修計画あり。（年間研修スケジュールをご参照ください。） 毎月ホーム会議を行っており、入居者様の支援方法や、障害特性について確認しております。 事業所外研修：会社として強度行動障害研修やサビ管に関する研修はエリアマネージャーを中心に受講推奨、管理しています。生活支援員も率先して取得していきたいと考えております。	資格取得に向けた講習や研修を計画的に受講されている点が良いと思います。様々な特性をお持ちの利用者様に対応できるよう、今後とも事例等を通じた研鑽をお願いいたします。 ホーム会議における支援方法の検討について、専門職等からの助言があるかどうかをご教示ください。

8/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・資格取得への取り組みはあるか。 サービス管理責任者や強度行動障害に関する研修については、受講費の補助があります。その他の資格取得に向けた講習や研修については、上長と検討のうえ、対応しております。	問題ないと思われますが、受講費の補助ということは一部職員の負担があるのが気になります。
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 添付させていただいた運営規定をご参照願います。 共同生活援助：第8条（入居にあたっての留意事項） 短期入所：第9条（サービス利用にあたっての留意事項）運営規定にある規定を守っていただくとともに、特性に合わせ、支援の検討などをご相談させていただいたうえで、個々に決めてまいります。 ・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 本入居ご希望の方で、弊社施策の無料体験をご利用いただいた時に、他入居者で動きの激しい方がおり、咄嗟な動きが出来ない為、怪我などの不安を考慮し、安全面を職員で検討しましたが、設備の問題や人員を必要とする為、お断り致しました。	多様な障害種別の特性に合わせた利用者の受入を行っており、良いと思われます。 障害特性への配慮を含め、今後とも前向きな受け入れの検討をお願いいたします。 日中サービス支援型の共同生活援助として、設備・人員基準にかかる事は可能な限りご対応いただけるよう整備をお願いいたします。 また、受け入れを断られる際に、計画相談事業所や基幹相談支援センター等へ情報提供を行うなどのアフターケアをお願いいたします。 障害特性の配慮を含め、今後とも前向きな受け入れへの検討をお願いいたします。
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて	消防計画・非常災害対策計画に基づいて、年間ホーム研修で年1回づつ、夜間と日中を想定し避難訓練を行っております。また、参加出来なかった職員には避難訓練時の情報を共有しています。各計画書を提出いたしますので、ご参照ください。	非常災害対策計画の作成とともに、年1回ずつ夜間・日中を想定した避難訓練を実施されており、良いと思われます。継続的な実施をお願いいたします。

9/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
16	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・「7.地域に開かれた運営について」でご質問のあった、松戸市避難行動要支援者名簿の個人登録されているのか？ですが、福祉長寿部福祉政策課に確認したら、GHにご入居されている方は登録できないとのことご返答でした。 ・「主治医の指示に基づいた訪問看護」について、医療連携体制として、会社で委託している訪問看護とは別に、ご入居者様それぞれで、ご契約しております訪問看護が主治医の指示書の基、健康管理されております。	委託している訪問看護と入居者が個別で契約している訪問看護がある場合、緊急時に備えて双方の情報共有ができているとより良いと思われます。 今後も利用者へ必要な医療を適切に提供できるよう、継続的な取り組みをお願いいたします。
17	その他	車いすの方でも生活しやすい様に、エレベーターや車いす用トイレの設備、リフト浴もあります。洗面台も1階2階とも車いすの方でも使いやすい仕様になっております。玄関・風呂場に段差がなくバリアフリーになってます。 昨年度はレクリエーションも行いました。ご自身でメニューを決めて、職員が注文と受け取りを行い、テイクアウトしてホームのリビングにて食事をしたり、たこ焼きをご入居者様の前で焼き、出来立てを召し上がっていただいたりしました。また、七夕・ハロウィン・クリスマスのイベントを楽しむ一環でホーム内を飾り付けしたり、怪我に気を付けながら、職員と一緒に紙や毛糸を使い作品を制作しました。 訪問歯科・訪問診療も、必要な方は個別でご契約していただき、緊急時や健康に不安がある時等も医師からの指示を受けやすくしており、情報共有をしております。	重度の利用者にも対応できるよう設備がバリアフリーで整備されている点が良いと思います。 レクリエーションにおいて利用者の意思が反映され、季節のイベント等も積極的に取り入れるなど、総じて様々な障害に対応できる工夫されている点も良いと思います。 訪問診療・訪問歯科の利用については事業所側が積極的に介入していただくことが望ましいと考えられます。 食材料費の高騰が今後も続く予想されるため、毎食300円の食費について、栄養価や量が担保できない場合、根拠ある相応の値上げも検討すべきではないかと思われます。

10/10

報告・評価シート

【報告日】 令和7年 5月 15日
【評価日】 令和7年 6月 5日

法人名		株式会社INNOVEL HEALTHCARE							
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	グループホームイノベル松戸			人員配置	日中		
		指定日	令和7年	3月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	千葉県松戸市和名ヶ谷102-4				5人	10人	
		定員数（共同生活援助）	20人				(常勤換算後)	(常勤換算後)	
		定員数（短期入所）	0				4.60	5.00	
		共同生活住居数	1戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人	生活支援員	
		グループホームイノベル松戸A棟	10名				2.00	9.00	
		グループホームイノベル松戸B棟	10名				(常勤換算後)	(常勤換算後)	
【住居名を記載】		名			0.20	2.20			
2	利用者状況（令和7年5月1日現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）					身体	総 数：	2人
		区分2	0人					主に日中GHで過ごす人数：	
		区分3	1人				知的	総 数：	10人
		区分4	3人					主に日中GHで過ごす人数：	
		区分5	3人				精神	総 数：	6人
		区分6	8人					主に日中GHで過ごす人数：	
		合計	15人				難病等	総 数：	1人
		年齢	人数					主に日中GHで過ごす人数：	
		20代以下	1人						
		30代	3人			内訳②	障害特性		人数
		40代	2人				医療的ケアが必要な者		0人
		50代	9人				強度行動障害がある者		6人
		60代以上							

1/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	令和7年	12月	日	事業継承の事由も含め、行政職員の参加が望ましいと思われます。 一度実施していただくことが大切かと思いますが、福祉領域に知見を有する方について、相談支援専門員、基幹相談支援センター、特別支援学校関係者等の参加についても検討をお願いいたします。 利用者や利用者家族、地域の方の理解が進むような議題選びを心がけてください。引き続きの検討をよろしくお願いいたします。 内容について検討をお願いいたします。 ホームページ等で広く公表していただくことが望ましいと考えます。
		参加委員数	5人			
		開催方法	対面			
		会議の構成員 (利用者家族、地域の関係者等)	利用様 利用様の家族様 福祉に知見のある方 経営に知見のある方等々			
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について				
		利用者と地域との関係作り、地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、施設サービスの透明性、質の確保、利用様の権利擁護等々				
		地域連携推進会議における要望・助言等について (会議において推進員等からの要望や助言を記載)				
		地域連携推進員の訪問について (施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載)				
		議事録の公表方法について				

2/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】株式会社INNOVEL HEALTHCAREが設定するGHイノベル松戸において実施する指定障害福祉サービスの共同生活援助事業の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理を図ると共に利用者の立場に沿った適切な共同生活援助の提供を確保することを目的とする。 【運営方針】 利用者の意思及び人格を尊重し、地域での重要な役割を担う社会資源となる為、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する事を目的とする。	日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。 適切な人員の配置や体制についてはできているものと読み取れますので、引き続きよろしくお願いいたします。 方針としては良いと思いますが、「利用者の立場に立つ」ことに対する具体的な内容を次回の評価部会にてお示しください。
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 利用者様それぞれの特性に沿い、日中活動を行っています。グループで季節の創作活動を主に行い個別に機能訓練、リハビリを定期的に行っております。強度行動障害のある利用者様には、個別に構造化されたプログラムに沿った活動をマンツーマン支援にて実施しています。 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 13 人 就労B型（7名） 生活介護（6名）	利用者の特性に従った日中活動や機能訓練などが行われているため、継続して実施をお願いいたします。障害が重度の利用者に対しては、個別性も重視した支援ができると良いと思われます。 個別に構造化されたプログラムに沿った活動は良いと思います。実施にあたって各棟毎にしているのか、プログラムの策定において個別の特性にどのように配慮をしているのかご教示ください。

3/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5	利用者の主な日中の活動について	外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 外部の日中サービスを利用したいが、受け入れ先がない方、日中もホームで過ごされたいとご希望される方もいます。 事例 7：00 起床、整容 7：30 朝食、口腔ケア 9：00 居室の清掃 10：30 散歩時間or散歩 12：00 昼食 13：00 創作活動（ピース通しや色分け、塗り絵等） 15：00 おやつ 16：00 入浴 洗濯 17：00 散歩時間 18：00 夕食、口腔ケア 19：00 自由時間 22：00 就寝	利用者の特性や希望に応じた生活スケジュールで良いと思います。引き続き実施いただくようお願いいたします。 日中活動を希望する利用者の中で、受け入れ先がない事実は松戸市の課題として受け止める必要があると感じました。
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 外出支援は、近隣のスーパーに買い物支援、地域交流を深めるためお散歩支援に挨拶運動を行っています。	地域交流を行うために不可欠な挨拶の実施や、買い物やお散歩の支援などが行われており、良いと思われます。利用者の要望も取り入れつつ、引き続きの実施をお願いいたします。 人員体制の問題もあるかと思いますが、近隣のみで完結する内容のため、移動範囲を広げていただく等、余暇の内容を増やしていただければと思います。

4/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	体験的利用等のニーズに対応しているか。	体験利用の受け入れについても検討していただくようお願いいたします。
		(これまでの体験利用者の人数を記入)	
		(体験利用の事例を記入)	
7	同一敷地内に設置した通所事業所について <u>※該当する場合のみ回答</u>	・通所事業所の概要について	
		事業所名	
		サービス種別	
		利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況	
		【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度 ・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 事業継承の件もあり、しばらくの間ボランティア主催のイベントの受け入れを中断していましたが、今月より再開を予定、保護者様にお声掛けし交流の機会を図ります。	地域のボランティアサークルの受け入れは良いと思いますので、継続的な受け入れをお願いいたします。ボランティア主催のイベントについて、グループホームがどのように関わられているのが気になりました。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数 実習生：0人 ボランティア：8人	ボランティアを受け入れた際の利用者の反応について次回 の評価部会にてお示しください。 実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。
		ベリーグッドさん(ダンス)をボランティアでお呼びしました。	

5/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 人 うち市の事業による受け入れ： 人	隣接事業所にて緊急性のある方や一時的な受け入れの対応ができていない点が良いと思われます。 補充により職員が確保された場合、休館日（日曜・月曜）においても開所を行うと説明がありました。利用者によっては意図せず長期的な利用が必要となる可能性もあるため、早急な人員確保が必要と考えられます。 人材不足等により、対応に苦慮されているかと思いますが、ご対応いただきますようお願いいたします。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
		短期入所の事業所が隣りに隣接しており、緊急性のある方や一時的な受け入れも対応されておりますが、職員が少なく日曜日・月曜日が休館日になっており対応出来ないとの事	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 平日利用者15名、20名に対してユニット2～3名 土日祝日利用者20名に対して1ユニット3～4名 夜間支援1階（A棟）ユニットに対して1名 夜間支援2階（B棟）ユニット対して1名～2名配置にて支援体制を確保しています。	常時の支援体制が確保されていると思われますので、継続的な実施をお願いいたします。 土日祝日における加配は評価できますが、災害等を想定すると夜間においても人員配置を手厚くしていただくことが望まれます。
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	相談支援事業者とは利用者様の状況の変化やご様子など情報共有を行い連携を行っています。必要時または定期的な担当者会議の依頼もしています。 通所先や他のサービス事業所とは送り出しや迎え入れの際などで情報共有を行ったり、連絡帳のやり取りなどで毎日の連携を行っています。問題や何か気になった点などの相談ができるよう関係性の構築がされています。	連絡帳を用いた情報共有を評価いたします。 また、定期的な担当者会議の開催や情報の共有に努められている点が良いと思われますので、継続的な実施をお願いいたします。

6/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得 状況や実務経験に ついて	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 初任者研修修了 実務者研修修了 強度行動行動障害修了	管理者の経歴等について次の評価部会にて補足の説明をお願いいたします。その他につきましては問題ないと思われます。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 社会福祉士 サービス管理責任者 相談支援専門員初任者研修修了、障害者支援に関わる実務経験が8年以上あり。 週2日、月8日勤務。	研修修了者が配置されており、スキルとしては問題ないと思われますが、サービス管理責任者の配置が週2日と少ないことが気になりました。今後勤務配置について検討があるか、他の業務との兼務の有無について次の評価部会にてお示しください。 非常勤の勤務自体は問題ないですが、サービス管理責任者以外にも経験の少ない職員へのアドバイスができる職員を配置するなど、アセスメントやモニタリングが適宜行えるような体制づくりをお願いいたします。
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 初任者研修6名 実務者研修2名 強度行動行動障害3名 介護支援に関わる実務経験が3年以上の職員	配置としては問題ないと思われますが、社会福祉士を始めとするソーシャルワーカーが配置されていることが望ましいです。
13	障害福祉関連事業 における経験がない 従業者に対する 対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 事務所に提示してあります。	年間計画にもとづいた研修がなされているため、計画通りの実施をお願いいたします。 事例検討など、実践的な研修も積極的に受講できるようお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 資格手当、給与の等級制度などの金銭面でのサポートや実務経験を積んだ職員へのサービス管理所得など管理職を目指すような育成体制を整えている。	資格取得への取り組みがされていて良いと思われますが、外部研修等の資料配布や周知について実施いただけるとより良いと思われます。

7/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け 入れ可否の判断基 準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 基本的に重度支援区分の高い利用者様を主体で受け入れを行っています。医療依存が高く医療従事者の対応が必要なケースや精神疾患にて慎重な対応が必要なケースなど	日中サービス支援型のグループホームとして重度の方を受け入れる方針は正しく、地域としては非常に心強いと思われますが、現場のスキル等が充足されているかは疑問に残りました。プログラムの整備や支援の実情に合わせた受け入れの調整をお願いいたします。 「精神疾患にて慎重な対応が必要なケース」はどのような事例を想定されているかご教示ください。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 利用相談にて断った事例はありません。通所先の兼ね合いにより決まらなかった、ご家族との利用料の折り合いがつかなかったとの事例はあります。	上記と重複いたしますが、支援区分が軽度・中度である方の受け入れについては可能であるのかご教示ください。 無理なく継続的な支援が可能となるような受け入れをお願いいたします。
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて	施設内の業務継続計画を策定し、避難訓練は、年2回の実施をしております。備蓄に関しては常時3日分の備蓄を備えています。	年2回の避難訓練の実施や、3日分の備蓄がされている点は良いと思います。備蓄の賞味期限等を確認していただき、継続的な備えをお願いいたします。 夜間帯の被災に対する体制が不足していると感じました。今後、消防署等と連携されるとより実践的な防災体制が整えられるのではないかと考えられます。
16	協議会からの要望、助言への対応 (2回目以降記入)	イノベルが運営する訪問看護事業所より派遣された看護師がホームに常駐しています。訪問看護契約をされているご利用様の健康観察をスケジュール計画に基づいて行い、訪問看護以外の時間は生活支援員として業務を行っています。	訪問看護事業所から派遣された看護師が常駐し、計画に基づいた健康観察が行える体制が良いと思いました。 一方で、生活支援員としての配置はグループホーム職員とみなされるため、訪問看護師として派遣されている立場を鑑みると現実的ではないのではないかと感じます。
17	その他	松戸市社会福祉協議会のボランティア活動団体との交流を継続しています。 外出支援、お散歩支援の際、地域交流を深める為に挨拶運動も継続して行っています。	運営体制が新しくなりましたが、前体制にて発生した事案を風化することなく、今後の運営に活かしていただきたいと願っております。 利用者様の要望等も取り入れながら、ボランティア活動団体との交流や地域交流のための外出支援等の活動を継続していただくようお願いいたします。

8/8

報告・評価シート

【報告日】 令和 7年 5月 12日

【評価日】 令和 7年 6月 5日

法人名		株式会社国土信和				【評価日】		令和 7年 6月 5日	
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	しんわ松戸			人員配置	日中		
		指定日	令和5年	2月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	千葉県松戸市中和倉467-1				8人	7人	
		定員数（共同生活援助）	20人				(常勤換算後)	(常勤換算後)	
		定員数（短期入所）	1人				6.6人	5.7人	
		共同生活住居数	1戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】		世話人		生活支援員		
		しんわ松戸ユニット1	20名		8人		人		
		しんわ松戸ユニット2	20名		(常勤換算後)		(常勤換算後)		
		しんわ松戸ショートステイ	1名		5.8人		人		
2	利用者状況 (令和7年5月1日 現在)	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）					身体	総 数：	1人
								主に日中GHで過ごす人数：	
		区分2					知的	総 数：	18人
								主に日中GHで過ごす人数：	
		区分3	1人				精神	総 数：	1人
								主に日中GHで過ごす人数：	
		区分4	3人				難病等	総 数：	0人
								主に日中GHで過ごす人数：	
		区分5	8人			内訳②	障害特性		人数
		区分6	8人				医療的ケアが必要な者	0人	
		合計	20人				強度行動障害がある者	14人	
		年齢	人数						
		20代以下	5人						
		30代	6人						
40代	5人								
50代	3人								
60代以上	1人								

1/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
3	地域連携推進会議 の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び 議事録を添付すること	開催日	令和7年	5月	28日	利用者の主体は特別支援学校の卒業生になるかと思われますので、特別支援学校関係者を交えて開催されたことは好事例であると考えます。		
		参加委員数	(予定) 10人					
		開催方法	グループホームでの対面方式					
		会議の構成員 (利用者家族、地域の関係者等)	・利用者（とその保護者） ・支援学校職員、保護者 ・町内会役員 等					
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					町内会役員の方は当日欠席とのことでしたが、今後も地域の理解が深まるよう、地域の様々な関係者の出席について積極的にお声がけをお願いします。	
		・グループホームの活用方法について ・しんわ松戸の取り組みについて (予定)					また、福祉に関する知見のある方へのお声がけを特にお願いいたします。	
		地域連携推進会議における要望・助言等について (会議において推進員等からの要望や助言を記載)					グループホームの概要や料金だけでなく、入居者の様子やタイムスケジュールなどを伝えられており、暮らしの様子がイメージできて良いと思われます。継続して実施していただければと思います。	
		地域連携推進員の訪問について 地域連携推進会議そのものをグループホームで開催し、参加者にはそのまま見学をしていただく予定です。					会議をグループホーム内で行った後、そのまま見学ができる点が良いと思います。	
		議事録の公表方法について 印刷・ファイリングし、施設見学者や希望者（保護者等）にすぐにご覧いただけるよう保管する予定です。					特別支援学校関係の保護者からの質問が多かったとのことで、会議の趣旨とずれる可能性もあるため、問い合わせに関しては別途個別に対応していただくことが望ましいです。	
					会議の議事録を閲覧できるよう配慮されている点は良いですが、可能であればホームページ等で広く公表していただくようお願いいたします。			

2/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】（別紙でも可） 別紙事業計画参照 【運営方針】（別紙でも可） 別紙事業計画参照	重度の方の受け入れについては地域資源として大切なことですので、日中サービス支援型の目的を理解して運営されており、良いと思われます。
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 日中活動との差別化を図る為、生活に沿った内容の支援を重視している。 ・買い物同伴や通院同伴等基本的な生活の支援 ・掃除や洗濯等の日常生活スキルの支援 ・食事や入浴、排泄等のADL面の支援 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 20人 生活介護18名、就労継続支援B型2名 外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 非該当	「日中活動との差別化」とありますが、住まいであることから、生活を優先としたサービス提供が望ましいと思われます。 内容に関しては生活に沿った内容の日中サービスが提供されており、自立した生活にも繋がるため良いと感じました。 全ての利用者が日中活動に参加されており、良いと思います。また、同法人内以外の活動場所があることも良いと思われます。 説明の中で、ほとんどの利用者が日中グループホームにいないとありましたが、その状態が常態化すると体調不良時や非常時に混乱を招く可能性があることをご留意ください。 また、職員が生活介護事業所との兼務であることから、利用者の支援が特定の職員のみで完結するおそれがあるため、適正な職員配置がなされているかご教示ください。

3/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 日中活動がない休日は、ご利用者様に対して散歩やドライブ・買い物等を促し、外出や活動の機会を積極的に作っています。 体験的利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数を記入） 5名（令和6年度） （体験利用の事例を記入） 令和6年度は、2泊3日～8泊9日までご希望の日程に合わせて体験利用を受け入れました。令和6年9月に満室になったため、現在は体験利用を受けられなくなっております。	積極的に外出や活動機会が作られており良いと思われますので、今後とも継続して実施していただくようお願いいたします。 意思決定支援の視点から、利用者から余暇に関する要望があるのか、要望に応じたサービス提供をしているのかご教示ください。 可能な限り体験を受け入れていただきますよう、引き続きよろしくお願いいたします。						
7	同一敷地内に設置した通所事業所について <u>※該当する場合のみ回答</u>	・通所事業所の概要について <table border="1"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> ・通所事業所での日中活動の具体的な内容 ・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度 ・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	事業所名		サービス種別		利用定員		
事業所名									
サービス種別									
利用定員									

4/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 第三者委員会聞き取り時やモニタリングに積極的にご家族にお声をかけ参加していただいております。また、町内会に参加し、行事にも積極的に参加しよう心がけております。		施設から利用者家族へ声掛けをしていただけるのはありがたい、良い取り組みとされますので、継続して実施をお願いいたします。 また、町内会活動に積極的に参加できており、コロナ禍後は地域のイベントも増えてきているため、積極的な参加をお願いいたします。 実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
		受け入れ人数	実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人	
		受入実績なし		
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 11 人 うち市の事業による受け入れ： 0 人		受け入れ状況は良いと思われます。空きがある場合には緊急・一時的な支援の受け入れについてもご検討ください。 また、松戸市の地域生活支援拠点への登録についてご検討ください。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例		
		短期入所は常にフル稼働であるとともに、グループホームも満室であることから、緊急的な受け入れに関しては実績がありません。		
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 配置基準に加え、人員配置体制7.5：1の世話人と生活支援員を加配しています。おもに平日日中は、常時8名以上を配置しており、土日は6名以上を配置しています。		加配自体は良いことと思われますが、平日日中の加配が必要であるか、また、5と重複いたしますが、生活介護事業所だけでなくグループホームに職員が適正に配置されているかご確認をお願いいたします。
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・常時各相談支援専門員と連絡を取り合い、その利用者に対するより良い支援を相談しながら行っております。 ・単身での外出が難しい利用者には、移動支援、行動援護、訪問看護の事業所と連携し、外出のお手伝いをしております。		関係機関と連携が取れているほか、他のサービス事業所と連携のうえ外出支援ができており、良いと思われます。今後とも継続して実施をお願いいたします。

5/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 ・障害福祉に関わる業務歴15年 ・介護福祉士資格保持 ・強度行動障害実践研修修了者	スキルの高い職員が配置されており、良いと思われます。 現在の事業所で何年勤務されているか次回の評価部会にてお示しください。 良いと思われます。 良いと思われます。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ・障害福祉に関わる業務歴11年 ・介護福祉士資格保持 ・強度行動障害実践研修修了者	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 ・精神保健福祉士資格（2名） ・介護福祉士資格（3名） ・強度行動障害実務者研修修了者（4名） ・実務者研修修了者（1名）・初任者研修修了者（1名） をそれぞれ配置しております。	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ・3週間に1回、障害者福祉向けのWeb動画をを用いて研修（虐待・身体拘束・感染症予防・BCP作成等、動画視聴後簡単なテストおよび研修報告書提出にて終了） ・勤続半年をめぐに強度行動障害基礎研修を受講していただいております。	研修の受講計画に受講期間目安が提示されており、良い計画と思います。今後も継続的な実施をお願いいたします。 Web動画をを用いた研修は個別に実施されているかご教示ください。 また、強度行動障害基礎研修受講においては、職員と利用者の双方を守るためにも、半年を待たずに受講をしても良いのではないかと感じました。 良い制度であると思います。継続して実施していただき、利用者様へ還元していただきますようお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 法人内の資格取得支援制度を活用しています。 ※別紙参照	

6/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 明確な基準は設けてはいませんが、重度障害者の受け皿になれるよう運営をしており、現在そのような方々が住まわられています。見学や数回の体験入居を経て、その環境で穏やかに過ごせる方であれば特に問題はございません。	見学や体験入居を経て穏やかに過ごせる場合に入居可能とされていますが、公平な受入れのためにある程度の基準の設定や会議による決定が必要ではないかと考えられます。 定員20名に対し、14名の強度行動障害者が生活することは職員の支援スキルを要するため、一つのグループホームで対応するのではなく、資源の創出を含めて検討していただく必要があるのではないかと思います。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 直近1年間にしまして、見学・体験入居を経ての受け入れを拒否したことはございません。	
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて	・日勤帯、夜勤帯それぞれ別日で設定しての災害避難訓練を実施。 ・ご利用者様、職員数分の水と食料を3日分備蓄。 ・BCP計画書作成（別紙）	日勤帯・夜勤帯それぞれで災害訓練を実施できており良いと思われますので、継続して実施いただくようお願いいたします。
16	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	5.重度の障害をお持ちの利用者が引きこもりにならないように、との思いで同一法人で生活介護も運営しております。ご自宅から当グループホームへ転居された方はまず引きこもりにならないように同法人の生活介護に通っていただいておりますが、元々他の生活介護事業所に通われていて、グループホーム転居後も継続をご希望される方には、そのまま元の生活介護事業所に通っていただいております。 6.8.9.のご指摘に関しましては、本文をご参照ください。 10.昨年度中に「こども発達リハビリクリニックむさしの」から「こころと眠りのクリニックみさと」という精神科と契約変更をし訪問診療をお願いしております。それに伴いまして、「柏ホームケアクリニック」という内科系クリニックとも新たに契約し、訪問診療をお願いしております。	重度の利用者が多いため、引きこもりになりがちなところを生活介護の利用により工夫されているほか、必要な医療や看護、福祉サービスの提供があり、良いと思われます。 訪問診療に関しては高齢化に伴い、内科の診療も必要になると考えられることから、精神科だけではなく、両面から適切な医療が受けられることが望ましいと考えられます。

7/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
16	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	加えまして、新規入居者に関しましては入居時に、今まで通院されていた病院か訪問診療かを選択していただき、ご本人や保護者の方のご意向に沿うような形を取っております。 12.13.15.のご指摘に関しましては本文をご参照ください。	今まで通院していた病院とグループホームにて契約をしている訪問診療を選ぶことができ、選択的医療が受けられる点が良いと思われます。利用者の利便性や意向が尊重されていると感じました。
17	その他	・夜間帯の職員を多く配置することで、朝食や身支度等の支援を手厚く行え、通所へ出発する際スムーズに送り出すことが出来ております。 ・建物内の窓、物置を除くすべての扉を吊り引き戸にし、バリアフリーにしております。	夜間帯の職員を多く配置することで、利用者がゆったりと一日を過ごせるように工夫されており、強度行動障害の方への対応として適当であると思われます。 職員の確保が難しいと思われますが、人員面で配慮がされているほか、施設についても利用者の安全が考えられており、素晴らしい配慮であると感じました。

8/8

報告・評価シート

【報告日】 令和7年 5月12日
【評価日】 令和7年 6月 5日

法人名		株式会社 リード							
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	バンビのおうち・いずみ			人員配置	日中		
		指定日	2024年	1月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	松戸市古ヶ崎160				6人	8人	
		定員数（共同生活援助）	10人				(常勤換算後)	(常勤換算後)	
		定員数（短期入所）	1人				3.60	3.30	
		共同生活住居数	1戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人	生活支援員	
		バンビのおうち・いずみ	10名				4.00		
		バンビのおうち・いずみ 短期	1名				(常勤換算後)	(常勤換算後)	
【住居名を記載】		名			0.70				
2	利用者状況 (令和 年 月 日現在)	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）					身体	総 数：	2人
		区分2						主に日中GHで過ごす人数：	
		区分3					知的	総 数：	2人
		区分4	7人					主に日中GHで過ごす人数：	
		区分5	1人				精神	総 数：	5人
		区分6	1人					主に日中GHで過ごす人数：	
		合計	9人				難病等	総 数：	0人
		年齢	人数					主に日中GHで過ごす人数：	
		20代以下	2人						
		30代				内訳②	障害特性		人数
		40代					医療的ケアが必要な者		0人
		50代	5人				強度行動障害がある者		0人
		60代以上	2人						

1/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
3	地域連携推進会議 の開催状況につ いて（令和6年度未 開催の場合は令和 7年度の予定） ※会議の次第及び 議事録を添付する こと	開催日	年	月	日	参加者の調整に難航しており、利用者家族は遠方居住者や 高齢の方が多く参加可能な方がいないとのことですが、お便 りなどで概要をお知らせすることも方法のひとつであるかと 思われます。 民生委員のみならず、福祉領域にも知見を有する方の参加 が望ましいと考えられます。相談支援専門員、基幹相談支援 センター、特別支援学校関係者等の参加もご検討くださいま すようお願いいたします。	
		参加委員数	5人				議題の設定は良いと思われます。 施設と地域の連携に重点を置き、連携推進会議だけでな く、日頃より地域との繋がりを意識した支援を実施してい たことが重要であると考えられます。
		開催方法	対面				
		会議の構成員 (利用者家族、地域の関 係者等)	サービス管理責任者 利用者・利用者家族 民生委員 自治会長				
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					連携推進会議の前に訪問の機会を設け、会議でご意見を諮 れるようにすると良いと思われますので、ご検討をお願い いたします。
		予定					
		・障害について					
		・施設と地域の連携について					
		・日常生活の様子について					ホームページ等で広く公表していただくようお願いいたしま す。
		・支援者の様子について					
地域連携推進会議における要望・助言等について (会議において推進員等からの要望や助言を記載)							
地域連携推進員の訪問について (施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載)							
議事録の公表方法について							

2/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営規定 第1条をご参照ください。 【運営方針】 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営方針 第2条をご参照ください。	日中サービス支援型の目的を理解して運営されており、問題ないと思われます。
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 生活に沿った支援を重視しています。 ・掃除や洗濯等の日常生活の支援 ・食事や入浴、排泄等のADLの支援 ・検温や体重測定を含め訪問看護（月2回）連携し健康管理支援 ・受診同行等の支援 利用者に合わせ、出来ない部分を支援し一緒に行っています。 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動 サービスの利用者人数： 4 人 生活介護3名・就労支援B型1名	生活に沿った日中サービスが提供されているほか、利用者の衛生管理ができており、良いと思われます。定期的な訪問看護についてはぜひ引き続き実施していただき、医療や福祉との連携を継続していただくようお願いいたします。 立地上の問題から、医療機関の受診にバス等交通機関の利用が必要なため、受診に同行していただけるのは大変ありがたいです。反面、受診者が多く、職員の同行に苦慮されているとのことで、往診の活用等負担を減らす工夫をしていただくことが良いと考えられます。 日中サービス支援型の中では比較的中度の方が多いように見受けられますが、どの程度のADLの方を支援しているのか今回の評価部会にてお示しください。

3/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5	利用者の主な日中の活動について	外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 ・自分に合う活動場所を検討中、相談員やご家族・病院等と相談し見学や体験をしています。活動場所側の受入れ待ちの利用者も含まれます。 午前 図書館や地域包括支援センターへ 外出 午後 買物同行 居室や居間でネットを使用して調べもの・ノートにまとめる・職員と歓談・散歩・塗り絵・プラモデル作成・受診同行・ゲーム・掃除	活動内容は良いと思われます。 地域包括支援センターは年齢的に外出先として適当であるのか疑問に残りました。記載内容から、利用者の個別のニーズに対応したものと読み取れました。
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 外出支援は、近隣の店舗へ買い物支援や地域交流を深めるために散歩支援時等には挨拶等も積極的に行っています。 体験的利用等のニーズに対応しているか。 5名 （体験利用の事例を記入） ・グループホームが初めての利用者様にホームでの暮らしを体験できるようにしています。 ・体験から本入居への移行だけでなく今後の入居を視野に、どのような生活を送るのか経験として利用しています。	買い物支援や地域交流を積極的に行っている点が良いと思います。地域連携を継続していただくことで、顔見知りの関係ができるとより良いと考えられます。 余暇活動につきましても継続的な実施をお願いいたします。外出先については近隣だけでなく、利用者の希望を確認し、取り入れていただくこともご検討ください。 グループホーム自体の生活イメージを把握していただくための体験である点が良いと思います。今後も積極的に体験を受け入れていただくようお願いいたします。 また、空き状況に応じて緊急・一時的な受け入れ等が想定されるため、初めての方に提供するサービスとして日中サービス支援型のグループホームが適当かどうかは相談支援等、関係機関の判断が重要であると感じました。

4/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7	同一敷地内に設置した通所事業所について <u>※該当する場合のみ回答</u>	・通所事業所の概要について	
		事業所名	
		サービス種別	
		利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況	
		【GHからの利用人数】 人	
		【通所の頻度】 1週間に 日程度	
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	近隣の方と交流が図れるよう挨拶や会話などをされている点や、家族の来訪が自由な点が良いと思います。 ご家族の来訪は利用者が安心して生活が送れる反面、防犯等の問題もあるため、来訪の時間帯等、具体的な対応について次回の評価部会にてお示しください。 実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。
		ご家族は常に来訪可能で、入居者の部屋への出入りは自由しています。また、散歩や買い物等同行の際に、近隣の方と交流を図るよう挨拶や会話等をしています。	
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数 実 習 生： 人 ボランティア： 人	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数	受け入れの状況は良いと思われますので、継続的な受け入れをお願いいたします。緊急の利用希望に対する受け入れにつきましても期待いたします。 また、松戸市の地域生活支援拠点への登録についてご検討ください。
		受け入れ人数： 6 人	
		うち市の事業による受け入れ： 0 人	
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	

5/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	記載から支援体制は確保されていると思われますが、夜間帯が1名体制のためメンタルケア等、勤務スタッフへのフォローがあると良いと思います。 また、身寄りがいない利用者が多いとの説明がありましたので、災害時を想定し、夜間帯は加配していただくことが望ましいと思われます。
		平日（日中）：利用者3名/10名に対して3名 （夜間）：利用者9名/10名に対して1名 土日（日中）：利用者6名/10名に対して2名 （夜間）：利用者6名/10名に対して1名	
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・入居者本人はもちろんその家族についても相談支援事業者と情報を共有し、新たなニーズや課題についてどのようにしたらより良いのか共に模索している。 ・怪我や体調の変化があった際には、必ず関係する事業所等へ情報共有し、どのように支援していくかなど連携している。	関係機関と連携を取り、支援内容を検討されている点が良いと思います。今後も適宜連携をお願いいたします。
12	従業員の資格取得状況や実務経験について	・支援スキルの高い管理者を置いているか。	スキルの高い職員が配置されており、良いと思われます。
		就労継続支援A型 生活支援員/職業指導員 7年 介護職員実務者研修 サービス管理責任者基礎研修 受講予定	
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。	研修受講等で取得が可能な資格については取得していただくことが望ましいです。法人として資格取得が推奨されていることから、管理者・サービス管理責任者の受講状況について次回の評価部会にてお示しください。
		・就労継続B型・就労移行 支援員 6年 ・サービス管理責任者 7年 ・初任者研修 ・社会福祉主事任用資格	
		・支援スキルの高い従業員を置いているか。	
		・社会福祉士 ・介護職員初任者研修 ・介護職員実務者研修 ・介護福祉士 ・強度行動障害者支援者養成研修（基礎・実践）	良い配置であると思われます。社会福祉士の方が、事業所内でどのような業務を行っているかをご教示ください。

6/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 年間研修計画に沿って実施予定 外部研修については、その都度案内に従い該当する職員に受講を促している。	年間計画に沿っての実施をお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 講習を受講することで取得できるものは、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後、資格手当として給与に反映するようにしている。	
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 体験利用で経験した上で本人が家庭を離れた生活に順応し、入居を希望した場合受け入れ可能としている。相談支援事業所・関係機関等と最終的な調整会議を行い判断している。	体験利用で本人が順応できる場合に受け入れ可能としておりますが、調整会議で最終決定を行うなど、受入れの可否について共有が図られており、適切な判断だと思われます。今後も適切な判断のもと受け入れていただければと存じます。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 離設（利用者が無断で施設外に出てしまう）等、建物の構造上で防ぐことのできない障害があった。体験時に他利用者とのトラブルがあった。 障害特性により共同生活を行う事が困難であった。	
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて	「非常災害対策計画」別紙参照	計画に沿って体制整備がなされており、良いと思われます。継続的な備えをお願いいたします。

7/8

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
16	協議会からの要望、助言への対応 (2回目以降記入)		
17	その他	・トイレ等は分かりやすくピクトグラムを掲示 ・極力段差の解消によるバリアフリー化 ・1階洗面台は車椅子の方でも使いやすくなっている。 ・浴室に転倒防止用に手すりを多く設置している。	利用者の様々な障害に対応できるよう工夫されており、とても良い施設と感じましたが、玄関の段差だけ気になりましたので、対応していただくようお願いいたします。 2階へのエレベーターがないため、利用者に必要性が生じた際の想定をお願いいたします。 職員への負担となっている病院への受診同行ですが、特に多科受診が負担であると考えられるため、内科については訪問診療に一本化し、必要時に眼科や皮膚科を受診する等の方法についてご検討ください。 また、一般内科で眼科や皮膚科等に関する一部の疾患に対応できる医療機関もありますのでご参考にしていただければと思います。

8/8

報告・評価シート

【報告日】 令和7年 5月 15日
【評価日】 令和7年 6月 5日

法人名		株式会社チャレンジプラットフォーム				【評価日】		令和7年 6月 5日	
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	サニースポット松戸上本郷			人員配置	日中		
		指定日	2024年	10月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	松戸市松戸新田505-1				8人	8人	
		定員数（共同生活援助）	20人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		定員数（短期入所）	1人				3.76人	4.50人	
		共同生活住居数	1戸				夜間		
		【住居の内訳】			【定員数の内訳】		世話人	生活支援員	
		【ユニット1】	10名		4人		8人		
		【ユニット2】	10名		（常勤換算後）		（常勤換算後）		
		【住居名を記載】	名		0.11人		1.58人		
2	利用者状況 （令和7年4月30日 現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）	0人				身体	総 数：	0人
		区分2	0人					主に日中GHで過ごす人数：	
		区分3	0人				知的	総 数：	10人
		区分4	3人					主に日中GHで過ごす人数：	
		区分5	4人				精神	総 数：	0人
		区分6	3人					主に日中GHで過ごす人数：	
		合計	10人				難病等	総 数：	0人
		年齢	人数					主に日中GHで過ごす人数：	
		20代以下	6人			内訳②	障害特性		人数
		30代	1人				医療的ケアが必要な者		0人
		40代	0人				強度行動障害がある者		0人
		50代	2人						
		60代以上	1人						

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議 の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	2025年	7月	25日	町内会のみならず、福祉・経営に知見のある方の参加も望ましいと考えられます。 その中で、グループホーム等支援ワーカーとの連携は効果的であると思われます。他に、相談支援専門員、基幹相談支援センター職員、特別支援学校関係者等の参加につきましても検討をお願いいたします。	
		参加委員数	5人				
		開催方法	対面・サニースポット松戸上本郷				
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	女性利用者・男性利用者のご両親・GH支援ワーカー小林様（地域関係者調整中）				利用者や利用者家族、地域の方などの理解が進むような議題設定を心がけてください。また、地域の福祉的なニーズを含め、グループホームとしてどのように関わられるか協議していただくようお願いいたします。
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					
		地域連携推進会議における要望・助言等について （会議において推進員等からの要望や助言を記載）					
		地域連携推進員の訪問について （施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）					
		議事録の公表方法について					
様々な方から意見をいただき、運営に反映していただければと思います。							
検討のうえ、実施をお願いいたします。							

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】（別紙でも可） 別紙参照 【運営方針】（別紙でも可） 別紙参照	日中サービス支援型の目的を理解して運営されており、問題ないと思われます。
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 AMは居室で過ごす時間、14時～15時30分は余暇支援（曜日で異なりますが主に水書道や椅子ヨガ、散歩）15時30分以降は通所先から帰宅した利用者とおやつタイムを行っている。 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 7 人 生活介護5名、就労継続支援B型事業所2名 移動支援を活用しております。 外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 【女性利用者】 時間通りに動く事が難しく、通所時間に間に合わない為GH内、または移動支援を利用して楽しみを見つけている。 【その他2名利用者】 現在、生活介護の体験を踏み通所する準備をしている。	利用者の状況に応じた日中サービスが提供されており、良いと思われます。利用者の要望も取り入れながら、引き続き支援をお願いいたします。 居室で過ごす時間が午前中と決められている点について、何らかの理由があるのか気になりました。 3名の利用者について、障害特性等の理由から日中サービスの利用ができていない状況と思われますが、将来的に何らかの日中サービスが利用できると良いと感じました。 他の事業所や福祉に知見のある方に相談していただくことで、最適な支援方法が見つかる可能性があると思われます。

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 毎週、金曜日または土曜日に近所の公園やスーパーに散歩、買い物の外出支援を行っている。余暇活動は、水書道、椅子ヨガ、仏像ぬりえ、ゲームなど週変わりに行っている。	支援内容は良いと思います。近所の公園やスーパーに行くことで地域の方とも顔見知りになっていただけるとより良いと思われます。 体験利用の無料提供は、グループホームでの生活を体験することで本人の選択肢が広がるため、良い取り組みであると思います。今後も継続していただくようお願いいたします。 体験人数に対して実際の入居者が少ないことから、体験利用者の入居希望が少ないのか、グループホーム側が入居者を選定しているのか気になりました。仮に後者である場合には、日中サービス支援型グループホームとしての意義に関わる部分であると考えられます。
		体験的利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数を記入) 体験利用人数、30名	
		(体験利用の事例を記入) 2泊3日の体験利用は無料で提供している。	
7	同一敷地内に設置した通所事業所について <u>※該当する場合のみ回答</u>	・通所事業所の概要について	
		事業所名	
		サービス種別	
		利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況			
【GHからの利用人数】		人	
【通所の頻度】 1週間に		日程度	
・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み			

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	地域資源を活用されていることを評価いたします。 今後、イベントの参加だけでなく、ボランティア等も受け入れていただけるとより地域に開かれた運営になると思われます。 実習生やボランティアの受け入れは地域の理解につながりますので、可能な限り検討をお願いいたします。
		隣接しているライブラリ松戸上本郷で近所の教会から聖歌隊が来るなどイベントがあり参加させて頂いている。	
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数 実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 10 人 うち市の事業による受け入れ： 0 人	受け入れの状況は良いと思われます。 利用者の状況に応じて緊急・一時的な支援等の受け入れについて検討をお願いいたします。また、松戸市の地域生活支援拠点への登録についてご検討ください。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中は1ユニット10名に対し3名、2ユニットで計6名を配置しております。夜間は女性棟が1名、男性棟は2名配置しております。女性の夜勤者の確保が難しく、女性利用者の受け入れを制限しておりますので、早急に改善してまいります。	人材確保に苦慮されているのは理解いたしますが、夜間の女性棟1名の配置については、職員の体調不良等への対応が難しいと思われますので、早急に改善していただきますようお願いいたします。また、ストレスチェック等、職員へのケアやフォローについて実施をお願いいたします。 被災時とも考慮いたしますと、人材の確保は必須であると考えられますので、既存スタッフの雇用継続及び新規雇用にご尽力くださいますようお願いいたします。
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	相談支援専門員、通所先、保護者と情報を共有している。また、支援が難しい利用者の場合、CAS発達支援センターの職員、サポーターを派遣してもらい担当者会議を開催しアドバイスを頂いている。それに沿って記録を残し分析している。	専門職の方を派遣していただくことは支援の個別化を図る上で重要であり、職員の経験の積み上げに繋がっていると思われますので、良い取り組みであると思います。 研修は散発的・単発的にならないように継続的・系統的に計画していただけると良いと思われます。

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 障害福祉サービス経験9年（支援員経験4年、管理者経験5年） 特例子会社・共同生活援助勤務 サービス管理責任者基礎研修修了 強度行動障害基礎・実践研修修了 介護初任者研修	支援スキルの高い職員が配置されており、特に共同生活援助の経験がある管理者を置かれていることを評価いたします。実務経験を満たした際はサービス管理責任者実践研修を受講していただくことが望ましいと考えられます。 良いと思われます。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 障害福祉サービス経験30年 （支援員経験23年 サービス管理責任者7年） 生活介護・就B・共同生活援助勤務 介護福祉士・相談支援専門員初任者研修	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 介護福祉士4名 保育士1名 看護師1名 准看護師1名 日中サービス支援型経験者2名、入所施設経験者1名、重度訪問介護経験者2名	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。	計画に沿って外部研修を受講されており、良いと思われます。 入居対象者から、強度行動障害研修を受講し、資格取得を推進していただくようお願いいたします。取り組みについては良いと思われますので、今後の継続をお願いいたします。
		別紙参照	
		・資格取得への取り組みはあるか。 介護初任者研修・介護実務者研修取得制度あり 社内認定資格制度あり	

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 体験利用中に入居者との相性が悪かったりその影響でメンタルダウンや他害、自傷行為があった場合は受け入れ不可。 ・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 女性利用者（強度行動障害11点）が見学中に壁や扉を叩く、リビングでの自慰行為を止める事が出来なかったので受け入れを断る。その後通所先へ様子を見に行ったりしたが支援が難しいと判断。	会議を経て決定していただく等、受け入れに関してある程度客観的な判断基準があると良いと思われます。 障害特性等につきましては創意工夫のうえ、ご対応いただきますようお願いいたします。 受け入れ可否の検討については慎重な決定をお願いいたします。
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて	BCP自然災害業務計画書作成済み。災害研修、災害シュミレーション訓練を行っている。備蓄に関しては、水とレトルトご飯を120食分保管。	自然災害業務計画書に沿って研修や訓練が行われており、良いと思われます。 備蓄の賞味期限等を確認していただき、継続的な備えをお願いいたします。
16	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）		
17	その他	・身体障害者用のリフト浴あり。 ・自閉症の利用者には絵カードを利用しスケジュールを組み立てる	利用者の特性に合った創意工夫がされており、良いと思われます。 待機利用者があるとのことで、職員を補充のうえ解消をお願いいたします。

報告・評価シート

【報告日】 令和 7年 5月 8日
【評価日】 令和 7年 6月 5日

法人名		社会福祉法人馬橋福祉会					【評価日】		令和 7年 6月 5日		
項目		【事業所記入欄】									
1	施設概要	事業所名	障がい者グループホームなでしこ					人員配置	日中		
		指定日	令和7年	1月	1日	世話人	生活支援員				
		所在地	松戸市西馬橋1-8-10						11人	15人	
		定員数（共同生活援助）	20人						（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		定員数（短期入所）	1人						4.95人	10.48人	
		共同生活住居数	1戸						夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】		世話人	生活支援員					
		障がい者グループホームなでしこ（全体）	20名		4人	7人					
		障がい者グループホームなでしこ1階	10名		（常勤換算後）	（常勤換算後）					
		障がい者グループホームなでしこ2階	10名		0.7人	1.34人					
2	利用者状況 （令和7年5月8日現在）	障害支援区分	人数					内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）	0人						身体	総 数：	2人
		区分2	0人							主に日中GHで過ごす人数：	
		区分3	0人						知的	総 数：	12人
		区分4	3人							主に日中GHで過ごす人数：	
		区分5	2人						精神	総 数：	0人
		区分6	9人							主に日中GHで過ごす人数：	
		合計	14人						難病等	総 数：	0人
		年齢	人数					主に日中GHで過ごす人数：		0人	
		20代以下	1人					内訳②	障害特性		人数
		30代	4人						医療的ケアが必要な者	0人	
		40代	4人						強度行動障害がある者	0人	
		50代	5人								
		60代以上	0人								

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	令和7年	11月	日	地域の方として民生委員を予定されているとのことですが、民生委員のみならず、福祉・経営に知見のある方の参加も望ましいと考えられます。 町会関係者や、相談支援専門員、基幹相談支援センター職員、特別支援学校関係者、市の障害福祉関係者等の参加についても検討をお願いいたします。 また、利用者の高齢化を考慮しますと、地域包括支援センターの関係者との連携も考えられます。 事業所と地域の連携について、これまでの活動や今後の連携についてを議題として取り上げていただくようお願いいたします。 計画的な実施をお願いいたします。 社会福祉法人という性質上、議事録はホームページ等で公表が望ましいと考えられます。	
		参加委員数	7人				
		開催方法	障がい者グループホームなでしこ				
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	利用者、家族、民生委員、職員				
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					
		グループホーム内での1日の流れや日中活動について話をします。					
		地域連携推進会議における要望・助言等について （会議において推進員等からの要望や助言を記載）					
		地域連携推進員の訪問について （施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）					
		議事録の公表方法について					

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】当法人はこれまで、高齢者を対象としたサービスを中心に運営してまいりました。しかし、地域の実情を把握する中で、介護を必要とする障がい者の方々が、適切な生活の場を確保できていないという課題に直面いたしました。私たちは、これまで培ってきた介護の知識と経験を生かし、そうした方々の支援に貢献できると考え、障がい者向けグループホーム事業を立ち上げるに至りました。 【運営方針】関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図り、適切かつきめ細かい共同生活援助サービスの提供を行う	建物にバリアフリーの配慮がなされているほか、中高年の利用者が多く、年齢的に病気や介護が必要となるであろう方へ対して、法人にて培った介護の知識と経験を活かした運営がなされており評価できます。 居宅介護等で地域の障害者を積極的に受け入れていただいております。地域の実情を考慮して本事業を開始された目的が理解できました。引き続きの支援をよろしく願います。
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ドライブ、買い物、散歩、体操、塗り絵、歌を聴く 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動 サービスの利用者人数： 12人 生活介護事業所 10名 就労継続支援B型事業所 2名	利用者の状況にあったサービスが提供されており、良いと思われます。今後お菓子作りや野菜栽培等、利用者の希望を取り入れた活動を行う予定とのことで、より利用者の方に取り組んでいただけることを期待いたします。 知的障害の方が多いため、支援の構造化をしていただくことが望ましいと考えられます。 報告・評価シート作成時と評価部会開催時で入居者数に差異がありましたので、次年度以降の評価部会で同様の場合には丁寧な説明をお願いいたします。

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5	利用者の主な日中の活動について	外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 午前中、地域を散歩したり掃除を一緒に行います。午後は、体操や歌を歌ったり輪投げや塗り絵装飾活動を行っています。	掃除や地域の散歩は社会参加という観点では望ましいですが、本人の希望を伺ったうえで実施しているか確認をお願いいたします。 障害特性等の理由から難しい可能性もありますが、外部の日中活動サービスを利用していない2名の方も外部のサービスと繋がりが持てると良いと思われます。
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 天気が良い日には散歩に出かけたり、毎日体操を行っている。行事レクではお花見で桜を見に行ったりしている。 体験の利用等へのニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数を記入) 8人 (体験利用の事例を記入) 近い将来グループホームに入居を視野に、どのような生活を送るのか経験として利用	地域に積極的に出ており、良いと感じました。町会のイベントなどを一緒に参加できるとより地域に溶け込めるとされます。 お花見などの季節のイベントについて評価いたします。引き続きの実施をお願いいたします。 将来の入居を想定して体験入所されることで、今後の生活設計の一助になると思われますので、良い取り組みと思われます。 グループホームの体験の場は地域生活支援拠点としても必要な位置づけであることから、日中サービス支援型のグループホームに協力いただけるのは大変ありがたいです。今後とも、継続的な実施をお願いいたします。

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7	同一敷地内に設置した通所事業所について <u>※該当する場合のみ回答</u>	・通所事業所の概要について	
		事業所名	
		サービス種別	
		利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況	
		【GHからの利用人数】 人	
		【通所の頻度】 1週間に 日程度	
		・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 家族はお部屋に入ってもらったり、共有スペースで日常生活の話をします。町内会に入会しており、ゴミ当番等を行っている。	町会に入会することで地域に溶け込む努力をされており、地域の方との繋がりが見える点が良いと思われます。 実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数 実 習 生： 0人 ボランティア： 0人	
		今後、検討し積極的に受け入れる	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 0人 うち市の事業による受け入れ： 0人	令和7年6月より短期入所を開設される予定とのことで、受け入れについて期待しております。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
		なし	

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 各フロアに利用者がいる限りは、十分な体制を整えている。職員は常に2人以上配置している。	職員の体調不良などに備え、複数人の配置を心がけていただようお願いいたします。 また、評価部会実施時は入居者が満室となっておりますが、想定通りの人員配置が実際にできているか、次の評価部会にてお示しください。
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	入居者はもちろんその家族についても相談支援事業者と情報を共有し、新たなニーズや課題について、どのようにしたらクリアできるか共に模索している。	良い連携状況であると思われますので、引き続き継続していただようお願いいたします。 年齢や障がいの特性によって利用者のニーズも変化いたしますので、情報共有を密にして顔が見える関係の構築をお願いいたします。
12	従業者の資格取得状況や実務経験について	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 高齢で約20年経験を積み在宅、施設等のサービス経験している。法人では介護主任や訪問介護の責任者もしている。松戸市のグループホーム連絡協議会で研修を毎月行い実践している。介護福祉士、社会福祉主事、相談支援専門員、サービス管理責任者（今年夏取得予定）	スキル・経歴ともに申し分なく、高い支援スキルを有していると思われます。 グループホーム連絡協議会やサボサガ等、地域の会議に積極的に参加している点も評価いたします。 様々な経歴があり、多角的な視点を持たれていることが感じられて良いと思います。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 精神科病棟で相談系の仕事をされ、成田市の障害福祉課で勤務も3年されている。サービス管理責任者として15年様々な障害分野での実績あり。（放課後のデイ、生活介護等） 精神保健福祉士、相談支援専門員、サービス管理責任者、強度行動障害研修終了。	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 他社で10年以上重度の障害者入所施設、生活介護での経験があり、専門性も高く入所された利用者に対して対応策や関わりの指示が出せる。身体拘束や虐待防止の研修担当をこなし職員に教育ができる。介護福祉士、社会福祉主事、強度行動障害実践研修終了。	

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13	障害福祉関連事業 における経験がない 従業者に対する 対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 年間計画を立て、それに基づいて研修を実施している。 (別紙参照)	年間計画に沿って研修が実施されており、良いと思われ れます。計画の通り実施をお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 実務者研修、介護福祉士取得のサポートしている。その 他サービス管理責任者、強度行動障害への研修を積極的 に行う	国家資格である介護福祉士の資格取得サポートは職員 にとっても有益な内容であると考えられます。 その他の研修においても利用者の対象範囲から適切で あると考えられ、資格受講の要件を満たされている方へ の積極的な受講も良いと思われます。
14	利用希望者の受け 入れ可否の判断基 準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 明確なものではなく、体験利用でGHの暮らしを経験した上 でご本人が家族を離れた生活に順応し、入所を希望した 場合受け入れ可能としている。その際、相談支援事業者 や家族、関係機関等による最終的な調整会議を行い判断 している。	受け入れに際し、調整会議によって判断されており、 良いと思われます。利用者が生活の変化に順応しやす くなるよう対応をお願いいたします。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 医療行為が必要な方（インシュリン、痰吸引）	医療行為に関しては人員配置上、致し方ない側面もあ りますが、将来的に医療的なケアは必要になると考えら れるため、想定しておく必要があると考えられます。
15	災害等における体制 整備及び防災への備 えについて	別紙参照	計画に沿った対応をお願いいたします。
16	協議会からの要望、 助言への対応（2回 目以降記入）		
17	その他		将来的に形態食への対応や利用者の医療的ケアが必要 になることが想定されますので、看護師の配置について 検討していただくと良いと思われます。